

令和2年度病床機能報告において
非稼働病床を有する医療機関への対応について

1. 病床が全て稼働していない病棟を有する医療機関への対応

- 県が病床機能報告の結果等から、病床が全て稼働していない病棟※1を有する医療機関を把握した場合、当該医療機関に対し、地域医療構想等調整会議への出席を求める。
- 当該医療機関に対して、以下の説明を求める。
 - ①病棟を稼働していない理由
 - ②当該病棟の今後の運用見通しに関する計画

※1 病床が全て稼働していない病棟とは、過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟をいう。



ヒアリング結果については、次のページのとおり

病棟を稼働していない理由及び今後の運用見通しに関する計画について

医療機関名	病棟名	医療機能	病棟を稼働していない理由	今後の運用見通しに関する計画
長良医療センター	中央4階病棟 (45床)	休棟等 再開予定	・小児科病棟であったが、患者数の減少により非効率な病棟運営となったため、病棟再編を行い、産科病棟である中央3階病棟に患者を集約することで、令和元年7月から非稼働となった。	・令和3年2月より分娩を中止しており、小児科中心の患者構成に戻ったこともあり、元々小児科病棟であった中央4階病棟は浴室やプレイルーム等の構造設備が適しているため中央4階病棟を再稼働させて、その代わりに中央3階病棟を閉鎖することで病棟運営の効率化を図ることとした。
岐阜赤十字病院	東4階病棟 (40床)	休棟等 再開予定	・主に呼吸器内科、脳神経外科等の急性期病棟として稼働していたが、建物の老朽化に伴い、平成30年5月から非稼働	・新棟建築の際には、急性期機能として稼働予定(スケジュールは未定)であるが、今後の状況に応じて医療機能の転換も検討する。
朝日大学病院	5階北病棟 (44床)	休棟等 再開予定	・消化器内科の病棟であったが、人的資源、機器備品等の整備が不十分のため、平成30年2月から非稼働 ・新型コロナウイルス感染症への対応に人的資源を集中投下しており同じ状況が続いている。	・病院の将来構想を2020年度に策定した。その概要を踏まえて次段階となる基本設計の立案に向けた作業を進めている(再稼働する場合は、2022年度以降となる見込み)。
羽島市民病院	2階1病棟 (17床)	休棟等 廃止予定	・緊急時の新型インフルエンザ発生時の対応病床として使用するため	・2025年を目途に、当該地域における急性期機能及び回復期機能の充足状況並びに、今後検討が必要とされる感染対策機能、災害時等の役割を検証し現状の稼働病床数で当該地域の役割が果たせるか検討する。